



国分寺市国際協会  
日本語教室・夜間  
学習者とスタッフの  
情報誌(年2回刊)

# かけはし

第53号  
(2022年度 春季)  
2022年2月 発行

## 2021年を振り返って

代表

今年は皆さんにとって素晴らしい年になるようにお祈りします。昨年(さくねん)は年明けから緊急事態宣言(きんきゅうじたいせんげん)が発令(はつれい)されました。その後もまん延防止等重点措置(まんえん防止重点措置)と交互(こうご)に繰り返されるなど、なんでもない「ふつうの日(ひ)」がわずかしかありませんでした。9月末(がつまつ)にようやく緊急事態宣言(きんきゅうじたいせんげん)が解除(かいじょ)され、10月から日本語教室(にほんごきょうしつ)を開くことができました。久しぶりに会う学習者(がくしゅうしゃ)やスタッフの元気な姿(すがた)を見てとても嬉しく思いました。

残念(ざんねん)なのは、2年(ねん)続けて教室(きょうしつ)の行事活動(ぎょうじかつどう)がまったくできなかったことです。おいしい料理(りょうり)をたくさん並べた「お楽しみ会(おんがひかい)」もできませんでした。せめて「お楽しみ会(おんがひかい)」の代わりに、と学習者(がくしゅうしゃ)・スタッフ全員(ぜんいん)が顔を合わせる「オンラインの集い(つどい)」を企画(きかく)しました。

慣れないZoom運営(うんえい)でしたが、スタッフから様々なアイデア(アイデア)が出され、50名(めい)を超える人(ひと)が参加(さんか)して、賑やかに行うことができました。学習者(がくしゅうしゃ)の「ひとこと自己紹介(じこじょうかい)」やグループに分かれて話す機会(きかい)もあり、教室(きょうしつ)に来ている学習者(がくしゅうしゃ)がどんな人(ひと)たちか、お互い(たが)を知ること(し)もできました。教室(きょうしつ)で実施(じっし)されてきた行事紹介(ぎょうじしょうかい)の映像(えいざう)も流れました。

今年(ことし)はコロナも終息(しゅうそく)して、皆さん(みな)と一緒に(いっしょに)日本の伝統行事(でんとうぎょうじ)や「年末お楽しみ会(ねんまつのおんがひかい)」をぜひ(ぜひ)できるよう願(ねが)っています。お互い(たが)に健康管理(けんこうかんり)には十分(じゅうぶん)気(き)をつけて1年間(ねんかん)また頑張り(がんばり)ましょう。

< 今回(こんかい) の 内容(ないよう) >

☆ 独占インタビュー

☆ 特集

「オンラインの集いに参加して」

「21年の振り返りと22年への思い」

☆ 新しいスタッフ紹介

## 独占 Interview インタビュー

学習者のジオさん

留学生弁論大会2位受賞!

ジオさんは、新聞奨学生(しんぶんしょうがくせい)の大学2年生(だいがくにねんせい)です。夜中(よなか)の2時から朝6時まで(あさろくじ)400部の新聞(しんぶん)を配達(はいたつ)しながら、大学(だいがく)に通(かよ)っています。先日(せんじつ)、大学(だいがく)で開催(かいさい)された留学生弁論大会(りゅうがくせいべんろんたいかい)で見事(みごと)2位(い)を受賞(じゅうしょう)しました。ジオさん(ジオさん)が今(いま)、思うこと(おも)をインタビュー(インタビュー)しました。



ゲスト：ジオさん (ベトナム) インタビュアー：真理子(まりこ)さん (スタッフ)

(1) 留学生弁論大会2位受賞おめでとうございます！大手新聞に弁論大会の記事と写真が載りましたね。ジオさんは弁論大会にどうして出ようと思ったのか、そのきっかけを聞かせてください。

ジオ：ありがとうございます。コロナの影響で日本人と留学生の対面での交流機会がなくなり、いろいろなことを考えました。そんな時弁論大会のお知らせを見て、自分が考えたことを発表してみようと思いました。多くの人の前で発表するのも久しぶりでしたが、挑戦してみようと決意しました。

(2) 弁論大会で工夫した点を教えてください。

ジオ：新聞配達の時誰も見ていないので、配達しながら発表の練習しました。前日までに暗記をして、録画の時はカメラに向かって前を見て発表できたことです。(コロナ禍で録画での参加でした。)

(3) 一番訴えたかったことはなんですか？

ジオ：テーマは「ポストコロナの日本留学」でしたので、これから留学する人に言いたいです。みんな辛い時間を過ごしたけれど、どんなに大変でも乗り越えられることを一番言いたかったです。

(4) ご家族は喜んでくれましたか？

ジオ：両親はとても喜んでくれました。特に母はご近所に新聞記事を見せて私の受賞のことを話したそうです。賞状は日本語なので、母は賞状の文字は読めないけれど、ジオという私の名前だけは読めたので、大喜びでした。姉は今私が日本語を教えているので、少し読めたのももっと喜んでくれました。

(5) ご家族の喜びが伝わってきますね。ところで、人々が寝ている夜中に配達をしていて辛いと思ったことはありますか？

ジオ：一番寒い時に起きなければならないことが、ちょっとだけ辛いけれど、なかなか見ることができない景色に癒されることもたくさんあります。深夜から明け方にはまだ月や星が残っていて、幻想的な景色に出会うことがあります。このところは、夜中に雨が降って、明け方に雨があがって、すごく綺麗な二重の大きな虹がかかっているのを何度か見ました。東の空から太陽が少しずつ昇り始める時の美しさは言葉にならないです。携帯でたくさん写真にとって、姉に送ったりしています。

(6) ジオさんが誰も見ていないところで淡々と積み重ねた努力が今回の受賞につながった気がします。ところで、大学では、何を専攻していますか？好きな科目を教えてください。

ジオ：経営学部経営学科で学んでいます。好きな科目は会計学、簿記原理、ビジネスマナー(日本の会社のルールなど)、テニス、英語コミュニケーションです。部活動は空手道部をやっています。楽しいです。

(7) 今後のジオさんの目標を教えてください。

ジオ：来年は自動車の運転免許を取れるように頑張ります。

(8) 日本に来てよかったと思うことを教えてください。

ジオ：日本の文化や食べ物が好きです。それから日本語教室のスタッフのみなさんと友達と出会えてよかったです。

(9) 泣かせますね。今後日本に留学にくるベトナム人の後輩に何かアドバイスをください。

ジオ：日本で勉強や仕事や生活を楽しく過ごせるように、まず、日本語をちゃんと勉強して、いろいろな新しいことに挑戦して、有意義な人生になるように頑張ってください。



# オンラインの集いに参加して

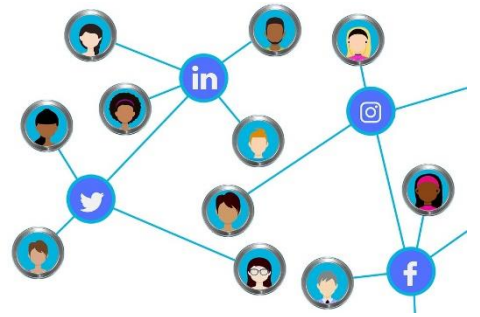
コロナ感染が世界中に広がって、2年になろうとしています。この間、世界中で亡くなった方が、第二次世界大戦の死者数をうまわったと言われていいます。これまで経験したことのない出来事に、私たちの生活は戸惑うばかりです。でも、立ち止まっているわけにはいきません。私たちは、それでも生きているのですから。人生の大事な一部が「今、ここにある」ので、いかにして生きがいを感じ、生きる喜びを見出しながら日々を過ごしていくか、その知恵が問われているとも言えますね。そんな中、日本語教室でも、オンライン形式と教室形式に分かれて学習を進めています。一緒に会って、同じ教室の仲間としての絆を持ちたいと、「オンラインの集い」が開催されました。初めての試みでしたが、皆さんにはどのように映ったでしょうか。皆さんの思いを特集しました。

## がくしゅうしゃ 【学習者】

### ★台湾の方

今年もコロナの影響でお楽しみ会を行うことができないと思っていました。年末のお楽しみ会では、各国の家庭料理を作ってきて、教室でみんなで楽しんでシェアしていました。私も毎回母と相談して、今回はどんなお料理を作って参加するか、これも楽しみの一つでした。先生たちのお陰で、今年のお楽しみ会は教室に来られない学生たちとオンラインでお互い挨拶して、自己紹介をやりました。私が皆さんの顔をおぼえていなくても、皆さんがおっしゃった言葉を頭に浮かべました。

私たちは、日本でお互いに頑張って、先生たちからの様々な応援をいただいて、前向きに行きましょう。



### ★インドネシアの方

今まで国分寺での行事に参加したことはなかったし、意外に外国人が多いんだなと思いました。自己紹介で全員の顔を見ることができていて、その上、ジャンケン大会の時も本当に面白かったです。さらに、あの日は寒かったので、家から参加できてよかったです。もしコロナが終わって、みんなで行事ができるなら、料理の屋台でそれぞれの国の料理を紹介し合えると楽しいと思います。例えば、インドの方であれば、カレーを紹介するという感じです。私は、いつもは料理はしませんが、簡単な料理を食べてもらいたいです。特に私のソウルフード、nasi goreng です！

### ★スペインの方

先月、日本語教室でオンラインのイベントがありました。このイベントにより、オンラインの学習者と直接レッスンに参加する人々と交流することができました。久しぶりに会う機会だったので、とても気に入っています。また、孤立した時期にオンラインで人と会って士気を高めるのもいいと思います。しかし、人と直接会うことに勝るものはありません。コロナ以前、私は多くの人々と接触してきました。そして、私は今それをとても恋しく思います。オンラインビデオ会議は良いと思いますが、人と直接の接触に取って代わることは決してありません。要約すると、オンラインイベントはとても良くて前向きなものだったと思います。しかし、私はパン

デミックをできるだけ早く終わらせ、通常のオフライン生活に戻りたいです！

## ★ベトナムの方

2021年は、転職することは自分の大きなイベントだと思いました。

日本で4年前に正社員になりましたが、去年の5月に初めて転職しました。仕事の環境はいいし、スキルアップ機会があるし、待遇も良いです。新しい環境で働いてまだ8か月ぐらいですが、いろんな良いことを勉強できました。将来、チャレンジしたいことがたくさんありますが、緊張せず進んでいきたいと思っています。

自分が立てた目標を達成するため、はっきりプランを作りました。まず仕事のスキルアップができるように、ソフトウェアに関する知識を勉強したり、資格を取得したりしたいと思っています。あとは、仕事のためだけでなく、日常生活にも大事なことで、日本語会話があります。だから、今年日本語会話がうまく話せるように一生懸命練習したいと思っています。国分寺の日本語教室で勉強するのは本当に役に立っています。教室で勉強する時間以外は家でも会社でももっと会話練習したいと思っています。

もちろん健康は大事なことで、無理せずに楽しい生活を送りたいと思っています。



## ★インドの方

私の名前はミーナです。インドから来ました。このエッセイは、前の週の日本語の授業についてです。このあいだ、クラスの生徒たちでゲームをしました。私も一度勝ちました。ゲームは楽しかったです。さいきん、私は先生との会話がわかりはじめました。わかると、楽しいです。日本語のべんきょうだけでなく、文化についてもまなぶことができます。

## ★イタリアの方

オンラインの集いは楽しかったです。・まず日本のじゃんけんをして、それからインドネシアのじゃん

けんをしました。インドネシアのは知らなかったけど、面白かったです。

後で、グループに分かれました。私たちのグループでは、好きな食べ物、嫌いな食べ物、そして2021年の最高だったことについて話しました。他の学生と話すのは初めてだったから、とても面白かったです



## ★中国の方

コロナの影響で、私たちは約1年間オンラインで授業をやった。最初テレビ通話で恥ずかしいと思う気持ちからだんだん慣れてきて、普通の生活状態になった。今年の最後、皆と一緒にオンラインで忘年会に参加して、本当に嬉しかった。いろいろなイベントの写真をみながら、本当に感動した。当日、会場とオンライン両方とも活発で、新しい形式の忘年会を行った。

私の感想は、今後コロナがなくなっても、オンライン授業を続けた方がよいと思う。例えば、私のような帰国しても続けて日本人と交流したい人や、日本に留学したい人にとって、日本に来る前にオンラインで日本人と交流できれば、安心だし、日本のことを更に期待するかもしれない。もし、今後教室でオンラインレッスンがあれば、私は必ず参加する。この一年間本当にお世話になり、ありがとうございました。



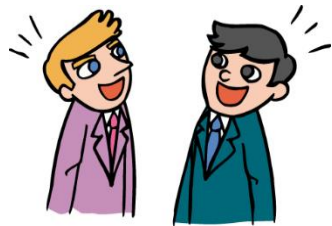
## ★中国の方

初めてオンラインの集いに参加して嬉しいです。久しぶりみんなの顔を見て懐かしい気持ちを思い出します。みんな元気に盛り上がってすごいですね。私は運動せず太りました。早くみんなのように日本語でペラペラにコミュニケーションできるようになりたいです。

2022年一番やりたいことは、一時帰国です。実家に帰って父母に会いたいです。そして、美味しいものを食べたいです。でも、今厳しい水際政策と高い

チケットを<sup>かんが</sup>考えて、22年度は<sup>ねんど</sup>不可能だ<sup>ふかのう</sup>と思います。  
世界が早く<sup>せかい</sup>正常<sup>せいじょう</sup>に戻ることを<sup>いの</sup>祈っています。

21年は<sup>ねん</sup>テレワークの  
一年<sup>いちねん</sup>です。同僚<sup>どうりょう</sup>なの  
に、たまに<sup>あ</sup>会う時<sup>とき</sup>、必  
ず<sup>ひさ</sup>久しぶり<sup>い</sup>と言って<sup>あ</sup>会う  
ので、面白<sup>おもしろ</sup>いと思<sup>おも</sup>いま  
す。



## ★インドの方

私は<sup>かいしゃいん</sup>会社員<sup>にほんごきょうしつ</sup>です。日本語教室<sup>さんか</sup>のイベント<sup>さんか</sup>に参加<sup>さんか</sup>  
するのは<sup>はじ</sup>初めての<sup>けいけん</sup>経験<sup>あた</sup>でした。新<sup>あた</sup>しい人<sup>ひと</sup>たちと<sup>こうりゅう</sup>交流<sup>こうりゅう</sup>  
することができ、とても<sup>けいけん</sup>いい経験<sup>けいけん</sup>になりました。

日本語教室<sup>にほんごきょうしつ</sup>のメンバーには、国籍<sup>こくせき</sup>、国<sup>くに</sup>、職業<sup>しよくぎょう</sup>  
など<sup>さまざ</sup>様々な<sup>ひと</sup>人がいて、とても<sup>おどろ</sup>驚<sup>おどろ</sup>きました。このイベン  
トは<sup>じじょう</sup>コロナの事情<sup>じじょう</sup>により、オンライン<sup>じつぶつ</sup>と実物<sup>じつぶつ</sup>のハイ  
ブリッドで<sup>かいさい</sup>開催<sup>わたくし</sup>されました。私<sup>わたし</sup>はオンライン<sup>さんか</sup>で参加<sup>さんか</sup>  
しましたが、今後<sup>こんご</sup>のイベント<sup>ちよくせつさんか</sup>ではぜひ<sup>おも</sup>直接<sup>おも</sup>参加<sup>おも</sup>した  
いと思<sup>おも</sup>います。

## 【スタッフ】

### ★仁子さん

12月15日、「オンラインの集い」が<sup>ひら</sup>開かれました。  
教室<sup>きょうしつ</sup>の役員<sup>やくいん</sup>の方が<sup>かた</sup>数週間<sup>すうしゅうかん</sup>も前<sup>まえ</sup>から<sup>じゆんび</sup>準備<sup>じゆんび</sup>してくださ  
ったお陰<sup>かげ</sup>で、コロナ禍<sup>か</sup>でオンライン<sup>じゆぎょう</sup>授業<sup>じゆぎょう</sup>をしている  
学習者<sup>がくしゅうしゃ</sup>さんたちと<sup>ひさ</sup>久しぶり<sup>がめん</sup>に画面<sup>あ</sup>で会<sup>あ</sup>うことができ、  
とても<sup>うれ</sup>嬉<sup>うれ</sup>しく思<sup>おも</sup>いました。じゃんけん<sup>じゃんけん</sup>でゲーム<sup>ゲーム</sup>をし  
て大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>盛り<sup>も</sup>上がり、楽<sup>たの</sup>しいひと<sup>とき</sup>時<sup>とき</sup>を過<sup>す</sup>ごさせてい  
だきました。私<sup>わたし</sup>たちのテ<sup>す</sup>ーブル<sup>た</sup>は「好<sup>す</sup>きな食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>」  
をテ<sup>す</sup>ーマ<sup>た</sup>にし、お<sup>す</sup>し<sup>し</sup>、特<sup>とく</sup>に回<sup>かいてん</sup>転<sup>ずし</sup>寿<sup>し</sup>司<sup>にんき</sup>が人<sup>にん</sup>気<sup>き</sup>でした。  
そこ<sup>はなし</sup>で、話<sup>はなし</sup>が弾<sup>はず</sup>み、皆<sup>みな</sup>さんの得<sup>とく</sup>意<sup>い</sup>の料<sup>りょう</sup>理<sup>り</sup>を聞<sup>き</sup>きまし  
たところ、ち<sup>はる</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>ま</sup>や、春<sup>はる</sup>巻<sup>ま</sup>き<sup>ま</sup>という料<sup>りょう</sup>理<sup>り</sup>名<sup>な</sup>があ<sup>あ</sup>がり  
ました。ベ<sup>はる</sup>ト<sup>ま</sup>ナム<sup>ま</sup>のチュ<sup>はる</sup>ニ<sup>ま</sup>ット<sup>ま</sup>さん<sup>ま</sup>が「春<sup>はる</sup>巻<sup>ま</sup>きが  
得<sup>とく</sup>意<sup>い</sup>」と<sup>い</sup>言<sup>い</sup>われたので、私<sup>わたし</sup>も即<sup>すく</sup>座<sup>ざ</sup>に「生<sup>なま</sup>春<sup>はる</sup>巻<sup>ま</sup>きが  
得<sup>とく</sup>意<sup>い</sup>！」と<sup>い</sup>言<sup>い</sup>ってしま<sup>しま</sup>いました。それ<sup>それ</sup>なら、12月<sup>12</sup>の  
「年<sup>ねん</sup>末<sup>まつ</sup>お<sup>たの</sup>楽<sup>れき</sup>し<sup>かい</sup>み<sup>かい</sup>会<sup>かい</sup>」でど<sup>ど</sup>ち<sup>ち</sup>ら<sup>ら</sup>が美<sup>み</sup>味<sup>み</sup>しいか<sup>か</sup>競<sup>き</sup>いまし  
ようか、と<sup>じょう</sup>冗<sup>じょう</sup>談<sup>たん</sup>半<sup>はん</sup>分<sup>ぶん</sup>に<sup>い</sup>言<sup>い</sup>ってしま<sup>しま</sup>いました。さて、

当日<sup>とうじつ</sup>の勝<sup>しょう</sup>敗<sup>ぱい</sup>はいかに？

### ★菜穂さん

<「オンラインの集い」に参加した感想>

2020年<sup>ねん</sup>から始<sup>はじ</sup>まったオンライン<sup>じゆぎょう</sup>授業<sup>じゆぎょう</sup>は、学習者<sup>がくしゅうしゃ</sup>さ  
んとの都<sup>つごう</sup>合<sup>ごう</sup>の良<sup>よ</sup>いタイ<sup>たい</sup>ミ<sup>み</sup>ング<sup>ん</sup>という点<sup>てん</sup>にお<sup>お</sup>いて利<sup>り</sup>便<sup>べん</sup>性<sup>せい</sup>  
もよ<sup>よ</sup>く双<sup>そう</sup>方<sup>ほう</sup>とも<sup>とも</sup>助<sup>たす</sup>かっ<sup>か</sup>ていま<sup>いま</sup>した。が、「オンライ  
ンの集い」に参加<sup>さんか</sup>して、改<sup>あらた</sup>めて多<sup>おほ</sup>くの仲<sup>なか</sup>間<sup>ま</sup>と顔<sup>かお</sup>を見<sup>み</sup>なが  
ら時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>を共<sup>きょう</sup>有<sup>ゆう</sup>するこ<sup>こ</sup>の素<sup>す</sup>晴<sup>は</sup>  
らしさを体<sup>たい</sup>感<sup>かん</sup>しま<sup>しま</sup>した。ま<sup>ま</sup>  
た、開<sup>かい</sup>始<sup>し</sup>前<sup>まえ</sup>のス<sup>す</sup>ライ<sup>らい</sup>ド<sup>ど</sup>シ<sup>し</sup>ョ<sup>ョ</sup>ー  
の素<sup>す</sup>晴<sup>は</sup>らしか<sup>しか</sup>ったこ<sup>こ</sup>！都<sup>と</sup>度<sup>ど</sup>  
写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を撮<sup>と</sup>られ、ナ<sup>な</sup>レ<sup>れ</sup>ー<sup>し</sup>ョ<sup>ョ</sup>ン  
と音<sup>おん</sup>楽<sup>がく</sup>がマ<sup>ま</sup>ッ<sup>っ</sup>チ<sup>ち</sup>した作<sup>さく</sup>品<sup>ひん</sup>  
に感<sup>かん</sup>動<sup>どう</sup>しま<sup>しま</sup>した。あ<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ご<sup>ご</sup>



ざ<sup>ざ</sup>いま<sup>いま</sup>す。これ<sup>これ</sup>ま<sup>ま</sup>でのた<sup>た</sup>く<sup>く</sup>さ<sup>さ</sup>ん<sup>ん</sup>の年<sup>ねん</sup>間<sup>かん</sup>行<sup>ぎょう</sup>事<sup>じ</sup>がパ<sup>ぱ</sup>ン<sup>ん</sup>デ<sup>い</sup>  
ミ<sup>い</sup>ック<sup>く</sup>によ<sup>よ</sup>り休<sup>きゅう</sup>止<sup>し</sup>とな<sup>な</sup>って<sup>て</sup>い<sup>い</sup>るこ<sup>こ</sup>は残<sup>ざん</sup>念<sup>ねん</sup>で<sup>で</sup>な<sup>な</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん  
が、With<sup>With</sup> コ<sup>こ</sup>ロ<sup>ろ</sup>ナ<sup>な</sup>にお<sup>お</sup>ける方<sup>ほう</sup>法<sup>ほう</sup>を模<sup>も</sup>索<sup>さく</sup>し<sup>し</sup>なが<sup>なが</sup>ら、様<sup>さま</sup>々<sup>ざ</sup>な  
国<sup>くに</sup>の文<sup>ぶん</sup>化<sup>か</sup>と交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>でき<sup>き</sup>る機<sup>き</sup>会<sup>かい</sup>に携<sup>たす</sup>わ<sup>わ</sup>って<sup>て</sup>い<sup>い</sup>け<sup>け</sup>たら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>れ  
しい<sup>い</sup>で<sup>で</sup>す。

<今年2022年にやってみ<sup>きぼう</sup>たい希<sup>もく</sup>望<sup>ひょう</sup>や目<sup>けい</sup>標<sup>かく</sup>、計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>>

大<sup>だい</sup>好<sup>こう</sup>き<sup>き</sup>な Bali<sup>Bali</sup>島<sup>とう</sup>に何<sup>なん</sup>とし<sup>し</sup>ても<sup>い</sup>き<sup>き</sup>たい<sup>たい</sup>！が自<sup>じ</sup>下<sup>げ</sup>の  
目<sup>もく</sup>標<sup>ひょう</sup>です。こ<sup>こ</sup>こ<sup>こ</sup>数<sup>すう</sup>年<sup>ねん</sup>の<sup>すう</sup>もの<sup>ねん</sup>覚<sup>おぼ</sup>え<sup>わ</sup>の悪<sup>わる</sup>さ<sup>め</sup>には<sup>あ</sup>目<sup>め</sup>も<sup>あ</sup>当<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>ら  
れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん<sup>ん</sup>が、「好<sup>す</sup>き<sup>き</sup>こ<sup>こ</sup>そ<sup>そ</sup>の<sup>の</sup>上<sup>じょう</sup>手<sup>ず</sup>な<sup>な</sup>れ」と自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>に<sup>い</sup>い  
聞<sup>き</sup>かせ、イン<sup>いん</sup>ド<sup>ど</sup>ネ<sup>ね</sup>シ<sup>し</sup>ア<sup>あ</sup>語<sup>ご</sup>の勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>を<sup>はじ</sup>始<sup>し</sup>め<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>す!!

### ★恵子さん

ハイブリッドで行<sup>つど</sup>われ<sup>れ</sup>た「オンライ<sup>つど</sup>ンの集<sup>じ</sup>い」に、  
教室<sup>きょうしつ</sup>で学<sup>がく</sup>習<sup>しゅう</sup>者<sup>しゃ</sup>メン<sup>めん</sup>ディ<sup>でい</sup>さん<sup>さん</sup>と共<sup>とも</sup>に参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>しま<sup>しま</sup>した。

開<sup>かい</sup>催<sup>さい</sup>に<sup>あ</sup>当<sup>あ</sup>たり<sup>たり</sup>、M<sup>M</sup>さん<sup>さん</sup>、Y<sup>Y</sup>さん<sup>さん</sup>が、何<sup>なん</sup>回<sup>かい</sup>もリ<sup>り</sup>ハ<sup>は</sup>ー  
サ<sup>さ</sup>ル<sup>る</sup>を<sup>す</sup>して<sup>して</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>り、試<sup>し</sup>行<sup>こう</sup>錯<sup>さく</sup>誤<sup>ご</sup>さ<sup>さ</sup>れて<sup>て</sup>い<sup>い</sup>る姿<sup>すがた</sup>に胸<sup>むね</sup>打<sup>う</sup>  
た<sup>た</sup>れる<sup>る</sup>もの<sup>もの</sup>が<sup>あ</sup>り<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>した。

コ<sup>か</sup>ロ<sup>ろ</sup>ナ<sup>な</sup>禍<sup>か</sup>、2021年<sup>ねん</sup>度<sup>ど</sup>は教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>で<sup>すべ</sup>の全<sup>ぜん</sup>て<sup>て</sup>の行<sup>ぎょう</sup>事<sup>じ</sup>が中<sup>ちゅう</sup>止<sup>し</sup>  
にな<sup>な</sup>り、全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>で時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>を共<sup>きょう</sup>有<sup>ゆう</sup>する機<sup>き</sup>会<sup>かい</sup>も<sup>な</sup>く、寂<sup>さみ</sup>しい  
思<sup>おも</sup>い<sup>い</sup>を<sup>し</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>した。当<sup>とう</sup>日<sup>じつ</sup>は<sup>は</sup>じ<sup>じ</sup>ゃ<sup>ゃ</sup>ん<sup>ん</sup>け<sup>け</sup>ん<sup>ん</sup>やグ<sup>ぐ</sup>ル<sup>る</sup>ー<sup>ぶ</sup>  
に<sup>わ</sup>分<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>れ<sup>れ</sup>て<sup>て</sup>のデ<sup>たの</sup>ィ<sup>たの</sup>ス<sup>たの</sup>カ<sup>たの</sup>ッ<sup>たの</sup>シ<sup>たの</sup>ョ<sup>たの</sup>ン<sup>たの</sup>等<sup>たの</sup>賑<sup>たの</sup>やか<sup>たの</sup>に<sup>たの</sup>楽<sup>たの</sup>しい<sup>たの</sup>時<sup>たの</sup>  
を<sup>す</sup>過<sup>す</sup>ご<sup>ご</sup>すこ<sup>こ</sup>が<sup>は</sup>じ<sup>じ</sup>め<sup>め</sup>て<sup>て</sup>の方<sup>かた</sup>、お<sup>お</sup>久<sup>ひさ</sup>し<sup>し</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>り<sup>り</sup>の方<sup>かた</sup>  
の<sup>え</sup>笑<sup>せつ</sup>顔<sup>げん</sup>に<sup>あ</sup>接<sup>せつ</sup>し、と<sup>と</sup>も元<sup>げん</sup>気<sup>き</sup>を<sup>い</sup>た<sup>た</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>した。

コロナ後、教室に入られた方はTさん作成の行事の映像を見て、ぜひ、参加してみたいと思われたのではないのでしょうか。

With コロナの毎日ですが、今年こそは、対面で「お楽しみ会」を、と願う日々です

### ★典子さん

グループでの話し合いは和やかな時間を過ごすことができました。普段は1対1での学習ですが、このような形でフリートーキングするのも新鮮でいいなと感じました。

また、たくさんの学習者さんとの繋がりを感じられました。早く、一堂に会し、笑いあえる日が来てほしいと強く感じました。

### ★玲子さん

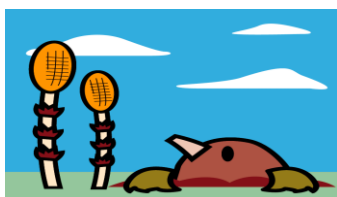
コロナウイルス感染が拡大し始めた2020年5月からオンラインでの学習者サポートになり、当初は戸惑ったこともありましたが、今ではすっかりペースが定着しています。

このように学習者としてしっかりお話をしながら進めていける形も良いかな？と思う反面、かつての賑やかな教室がなつかしく感じられます。

今回の「オンラインの集い」では、学習者のジャダさんは、一時帰国していたイタリアから熱心に参加してくれました。まだ実際の教室に来たことがないので、日本語教室の雰囲気分かって大変良かったと思います。

もう少しグループ別でおしゃべりの時間があれば、学習者間のコミュニケーションもすすんで、新たな場面での日本語のチャレンジができたのではと思います。

ともかくコロナウイルス感染の心配がなくなつて、通常の日本語教室に戻る日が早く来ればいいですね！！



### ★多恵子さん

コロナ禍でも何事も出来ないうまま、2021年の終わりが見えてきた頃、増井代表からオンラインの集いの提案がありました。会議を経て、日には12月15日、内容はじゃんけん大会、学習者全員の自己紹介、学習者をグループ分けしてのディスカッションに決まりました。水曜日の授業の前やスタッフ会議で何回もテストを行い、いろいろトラブルがありました。徐々に形になってきました。本番では、私は教室でのカメラワークの担当でしたが、カメラが映す前に、じゃんけんや話しを始めてしまうので、「待ってー」と叫ぶことになり、それで笑いを取るという始末でした。それでも何とか無事開催できて良かったです。

### ★照美さん

オンラインの集いに参加して、久しぶりにスタッフの皆さん、学習者の皆さんにお会いすることができ、とても楽しい時間を過ごせたと思います。李一本さんが話すところで時間切れになってしまったのが、ちょっと残念でした。次回はもう少しお話しできるように配慮できればと思います。李さんはテレワーク、私の職場も半数以上がテレワークなので、日常的にオンライン会議を使用していますが、職場ではオンラインでの雑談時間を設けたりするなど、以前よりコミュニケーションに注力するようになってきて、テレワークだからこそ雑談や日常会話の重要性が見直されています。今年テレワーク時代の日常会話などについてまとめてみたいと思います。



### ★貴さん

4月から学習者の要望によりオンライン授業を行ない、教室には行ってないため、久しぶりに学習者のさんたちの元気そうな顔が見れて良かったです。

コロナ禍通常の行事が行えない中、年末お楽しみ会に相当する「オンラインの集い」を一年の終わりの年末に開催していただき、ありがとうございます。実教室とオンラインの融合、コロナ禍の中での画期的な企画でした。じゃんけん大会も盛り上がり楽しみました。

## ★尊之さん

昨年12月に行われたオンラインの集いに参加することができました。一昨年の日本語教室に参加して以来常にオンラインでの教室でしたので、初めてのイベント参加でした。特にグループに分かれての話し合いは大いに盛り上がり、時間が足りないほどでした。このようなイベントに参加できて本当に良かったです。このイベントの開催に先立ち、ZOOMで今までのイベント紹介があり、例年のことが少しは分かった気がします。このような時ですから日本語教室だけでなく私自身の日常生活でも季節感が少なかったように思うので、今年はちょっとでも季節を感じられることができればよいなと思います。

## ★信子さん

日本語教室のオンラインの集いが開かれ、新しい学習者さんが増えていたのに驚きました。久しぶりに会えた学習者さんもたくさんいらして、懐かしく思いました。

イベントの紹介、じゃんけん大会、ブレイクアウトセッションなど、楽しい企画を考えてくださった役員の皆様に感謝です。

「コロナ禍における人の孤立」ということが話題になっていますが、Zoomを通して顔を見て、話せることのありがたさ、すばらしさを改めて実感したひと時でした。



## ★恵美子さん

コロナ禍のため計画された日本伝統文化習慣の

行事が行えず残念に思っておりましたが、この度「オンラインの集い」という新たな方法で、教室全体の集いを計画実行していただきました役員の皆様方ありがとうございます。私はオンラインで参加致しましたが、教室との一体感を味わうことができました。開始前のスライドショーは学習者の皆さんは大変興味深くご覧になったことと思います。「禍」を「新たな道」に転じていく発想はすばらしかったと思います。

## ★登志子さん

### Zoom でつながった各国からの参加者

私はZoomで「オンラインの集い」に参加しました。小さいグループに分かれた時、私のグループには三人の学習者さんがいました。そのうち二人は自分の母国（バングラデシュ、イタリア）からZoomに参加しました。日本との時差はバングラデシュが3時間、イタリアが8時間だそうです。コロナ禍で福祉センターに集うことができない日々が長く続きましたが、こうしてつながりを保つことができてよかったです。次に教室でみなさんにお会いするのが楽しみにになりました。

## ★賢一さん

### やればできる！やろうと意欲することに

今年の年末お楽しみ会は、「オンラインの集い」と名付けて、教室参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催された。初めてのことで、どうすればよいのか？準備する側は必死。何度もテストをして、試行錯誤の連続。それでも、当日、教室では音声トラブルが発生したり、進行がスムーズにいかなくなったりして完璧とはいかなかった。だが、やりきった。そして、参加された皆さんには楽しい思い出が残った。コロナを理由に、「今年もできません」とすることもできたが、コロナを理由に「新しいこと」を始めることもできる。増井代表と山崎副代表は後者を選び、日本語教室に新しい道を切り開いた。満点でなくてもいいんだ。全力で取り組み

結果は出る。もし不十分であったら、そこからまた一つ二つと積み上げていけばいいだけ。チャレンジした結果は確実に残っている。私たちは、つい、いままでやっていることに安住しがちだ。しかし、時代は変化している。参加する学習者の状況も学習環境も教室開校の時から大きく変化してきている。たとえば、外国人のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

では、多言語に対応した「日本語が学べる教材」がたくさん準備されている。こうしたものをもっと活用すれば学習者には学びやすく、学習成果の期待も十分考えられる。

「今」と「これから」に目を向けた時、学習者の皆さんに、より適した教室の在り方や、スタッフの関わり方にチャレンジしていく必要があるのではないだろうか？ また、我々はそれをやりきる力を持っているのではないだろうか？ 12月15日の夜、教室会場に居て、会場に居る学習者の、スタッフとスクリーンに映し出された大勢の学習者の皆さんの顔を見ながら、胸が震える思いがした。



## 「2022 年のこと」

がくしゅうしゃ  
【学習者】



タイトル : 「大学の卒業研究展を成功させたい」

【学習者】 名前 : アキさん (中国)

【スタッフ】 名前 : 芳信さん

芳信 : アキさんは、今年の3月でいよいよ大学卒業ですね。始まったばかりの2022年、アキさんがぜひやりとげたいと思っっていることはどんなことですか。

アキ : 何と言っても、今年の2月の卒業研究展をぜひ成功させたいです。

芳信 : アキさんはデザインと造形を学んでいるんですね。卒業研究のテーマは何ですか？

アキ : テーマは、「脆くて壊れやすい世界。しかし、そこには愛と希望がある。」。制作する作品は、ポスターとMV (ミュージック・ビデオ) です。キービジュアルは「地球」で、ポスターで連作として描くのは<現代篇><地獄篇><天国篇>の3つの世界です。

芳信 : テーマの「脆くて壊れやすい世界」というのが「地球」ですか。

アキ : はい。私たちの「地球」は、今まさに新型コロナウイルス感染の拡大などいろいろなマイナス面、ですがその一方で多くのプラス面も持っています。これが<現代篇>の世界です。そして、将来、「地球」は<現代篇>のままなのか？ それとも<天国篇>に向かうのか、<地獄篇>に向かうのか？ それは、人間の活動や意識にかかっていると思います。

芳信 : そんな「地球」は「脆くて壊れやすい」。「しかし、そこには愛」があるということですね。このことが「希望」であるようにも感じました。むかし『愛するということ』という本を読んだことを思い出しました。私たちは、「地球」をどう愛していくかを学ばなくてはならないと思いました。

アキ : 私も以前読んでいた聖書の言葉を思い出しました。「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」です。たとえば今のコロナ禍の中での医療従事者や慈善団体の支援、人々の応援や政府の前向きな取り組みなどが「愛」ではないかと思っています。<了>



## ベトナムの方

### なんで人生とか仕事って、がんばらないとい けないのか

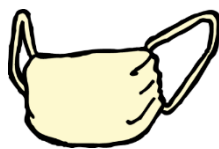
いつも勉強しているし、前にすすもうとしてい  
る。わたしにとっては家族が大切です。私<sup>わたし</sup>がたいへ  
んな目<sup>め</sup>にあっても家族<sup>かぞく</sup>の笑顔<sup>えがお</sup>をみると嬉しくな  
ります。

がんばって勉強<sup>べんきょう</sup>したい。世界<sup>せかい</sup>にはいろいろ知らな  
いことやできないことがある。だから、勉強<sup>べんきょう</sup>しなけ  
ればいけないし、自分<sup>じぶん</sup>が成長<sup>せいちょう</sup>してもっと強<sup>つよ</sup>くなっ  
て、周り<sup>まわり</sup>の人の世<sup>せ</sup>話をできる<sup>できる</sup>ようになりたい。

## ★ネパールの方

### 2022年にやりたいこと

ここ数年<sup>すうねん</sup>、新型<sup>しんがた</sup>コロナ<sup>はなし</sup>の話<sup>はなし</sup>ばかり  
でした。どこ<sup>どこ</sup>に行<sup>い</sup>っても、ど  
こ<sup>どこ</sup>に行<sup>い</sup>こうとしても感染<sup>かんせん</sup>対策<sup>たいさく</sup>のこ



とを考<sup>かんが</sup>えるべき<sup>べき</sup>でした。まず<sup>まず</sup>は2022年<sup>ねん</sup>に入<sup>はい</sup>って、  
初<sup>はつ</sup>詣<sup>も</sup>としてコ<sup>こ</sup>ロ<sup>ろ</sup>ナ<sup>な</sup>が終<sup>お</sup>わ<sup>わ</sup>って、み<sup>み</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>に良<sup>よ</sup>い<sup>い</sup>年<sup>ねん</sup>を祈<sup>いの</sup>  
りたいです。そして、旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>で日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>のい<sup>い</sup>ろ<sup>ろ</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>と<sup>と</sup>こ<sup>こ</sup>  
に行<sup>い</sup>って、新<sup>あたら</sup>しい<sup>あじ</sup>味<sup>くち</sup>を口<sup>くち</sup>にしな<sup>し</sup>が<sup>ら</sup>、い<sup>い</sup>ろ<sup>ろ</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>人<sup>ひと</sup>と  
仲<sup>なか</sup>良<sup>よ</sup>くしたい<sup>い</sup>です。北<sup>ほっ</sup>海<sup>かい</sup>道<sup>どう</sup>、大<sup>お</sup>阪<sup>お</sup>、京<sup>き</sup>都<sup>と</sup>、沖<sup>お</sup>縄<sup>なわ</sup>など  
観<sup>かん</sup>光<sup>こう</sup>都<sup>と</sup>市<sup>し</sup>として有<sup>ゆう</sup>名<sup>めい</sup>な<sup>な</sup>と<sup>と</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>はも<sup>も</sup>ち<sup>ち</sup>ろ<sup>ろ</sup>ん、田<sup>いな</sup>舎<sup>な</sup>の方<sup>ほう</sup>  
にも行<sup>い</sup>ってみたい<sup>い</sup>です。

## ★インドの方

### 2022年の目 標 ・ 希 望

- 1 日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>語<sup>ご</sup>検<sup>けん</sup>定<sup>てい</sup>試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>N4に合<sup>ごう</sup>格<sup>かく</sup>する<sup>こと</sup>です。
- 2 仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>につ<sup>い</sup>ては、人<sup>じん</sup>工<sup>こう</sup>知<sup>ち</sup>能<sup>のう</sup>の研<sup>けん</sup>究<sup>きゅう</sup>をし、関<sup>かん</sup>連<sup>れん</sup>  
学<sup>がく</sup>会<sup>かい</sup>に論<sup>ろん</sup>文<sup>ぶん</sup>を提<sup>てい</sup>出<sup>しゅつ</sup>する<sup>こと</sup>です。
- 3 私<sup>わたし</sup>の希<sup>き</sup>望<sup>ぼう</sup>は、日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>のい<sup>い</sup>ろ<sup>ろ</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>所<sup>ところ</sup>を旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>した  
り、日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>の文<sup>ぶん</sup>化<sup>か</sup>芸<sup>げい</sup>術<sup>じゆつ</sup>を理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>する<sup>こと</sup>です。
- 4 宮<sup>みや</sup>本<sup>もと</sup>武<sup>ぶ</sup>蔵<sup>ざう</sup>の五<sup>ご</sup>輪<sup>りん</sup>書<sup>しょ</sup>を<sup>よ</sup>み<sup>ま</sup>う<sup>と</sup>思<sup>おも</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>ま</sup>す。  
最<sup>さい</sup>初<sup>しよ</sup>は英<sup>えい</sup>語<sup>ご</sup>で、し<sup>か</sup>し<sup>し</sup>の<sup>の</sup>ち<sup>ち</sup>は、日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>語<sup>ご</sup>で読<sup>よ</sup>み<sup>た</sup>い<sup>い</sup>  
です。
- 5 運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>につ<sup>い</sup>ての勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>を<sup>し</sup>て、実<sup>じつ</sup>践<sup>せん</sup>する<sup>こと</sup>で  
す。

以上<sup>いじょう</sup>です。よろしくお願<sup>ねが</sup>い<sup>い</sup>します。

## ★インドの方

皆<sup>みな</sup>さん初<sup>はじ</sup>め<sup>ま</sup>して。ブ<sup>ブ</sup>ン<sup>ン</sup>デ<sup>イ</sup>ア<sup>ア</sup>です。27歳<sup>さい</sup>です。  
印<sup>い</sup>度<sup>ど</sup>から来<sup>き</sup>ました。英<sup>えい</sup>語<sup>ご</sup>とヒ<sup>ヒ</sup>ン<sup>ン</sup>ズ<sup>ズ</sup>語<sup>ご</sup>が<sup>で</sup>き<sup>ま</sup>  
す。印<sup>い</sup>度<sup>ど</sup>のグ<sup>グ</sup>ル<sup>ル</sup>ガ<sup>ガ</sup>ー<sup>オン</sup>（ニ<sup>ニ</sup>ュー<sup>ュー</sup>デ<sup>デ</sup>リー<sup>ー</sup>の<sup>隣</sup>町<sup>まち</sup>）  
に<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>ノ<sup>ノ</sup>ース<sup>ース</sup>キャ<sup>キャ</sup>ップ<sup>ップ</sup>大<sup>だい</sup>学<sup>がく</sup>で法<sup>ほう</sup>律<sup>りつ</sup>とビ<sup>ビ</sup>ジ<sup>ジ</sup>ネス<sup>ネス</sup>を専<sup>せん</sup>攻<sup>こう</sup>  
し、2020年<sup>ねん</sup>に卒<sup>そつ</sup>業<sup>ぎやう</sup>しました。

現<sup>げん</sup>在<sup>ざい</sup>は独<sup>どく</sup>身<sup>しん</sup>で、両<sup>りやう</sup>親<sup>しん</sup>と姉<sup>あね</sup>と一<sup>いっ</sup>緒<sup>しょ</sup>に東<sup>とう</sup>京<sup>きやう</sup>で<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>て</sup>  
い<sup>ま</sup>す。仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>は自<sup>じ</sup>動<sup>どう</sup>車<sup>しゃ</sup>関<sup>かん</sup>連<sup>れん</sup>の貿<sup>ぼう</sup>易<sup>えき</sup>会<sup>かい</sup>社<sup>しゃ</sup>に<sup>て</sup>課<sup>か</sup>長<sup>ちやう</sup>と<sup>し</sup>  
て車<sup>くるま</sup>の輸<sup>ゆ</sup>出<sup>しゅつ</sup>入<sup>にゅう</sup>業<sup>ぎやう</sup>務<sup>む</sup>、ア<sup>アフ</sup>ター<sup>ター</sup>サ<sup>サー</sup>ー<sup>ビス</sup>の業<sup>ぎやう</sup>務<sup>む</sup>を<sup>し</sup>て  
お<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。父<sup>ちち</sup>はシェ<sup>シェ</sup>フ<sup>フ</sup>、母<sup>はは</sup>は主<sup>しゆ</sup>婦<sup>ふ</sup>、姉<sup>あね</sup>は英<sup>えい</sup>語<sup>ご</sup>の教<sup>きやう</sup>師<sup>し</sup>  
を<sup>し</sup>てお<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。

趣<sup>しゆみ</sup>味<sup>み</sup>は、旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>と買<sup>か</sup>い<sup>もの</sup>物<sup>もの</sup>。最<sup>さい</sup>近<sup>きん</sup>は屋<sup>おく</sup>外<sup>がい</sup>で<sup>の</sup>運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>が好<sup>す</sup>き  
に<sup>な</sup>り<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。

今<sup>こと</sup>年<sup>とし</sup>の抱<sup>ほう</sup>負<sup>ふ</sup>は、運<sup>うん</sup>転<sup>てん</sup>免<sup>めん</sup>許<sup>きょ</sup>を取<sup>と</sup>る<sup>こと</sup>、日<sup>に</sup>本<sup>ぽん</sup>語<sup>ご</sup>がう  
ま<sup>ま</sup>く<sup>な</sup>る<sup>こと</sup>、節<sup>せつ</sup>酒<sup>しゆ</sup>、そ<sup>そ</sup>して<sup>し</sup>将<sup>しやう</sup>来<sup>らい</sup>のた<sup>た</sup>め<sup>に</sup>一<sup>いっ</sup>生<sup>しやう</sup>懸<sup>けん</sup>命<sup>めい</sup>  
は<sup>たら</sup>働<sup>はたら</sup>く<sup>こと</sup>です。

## ★スロバキアの方

### 去年 今年

2021年<sup>ねん</sup>を<sup>かえ</sup>返<sup>かえ</sup>った<sup>とき</sup>、一<sup>ひと</sup>言<sup>こと</sup>で<sup>は</sup>い<sup>い</sup>く<sup>つ</sup>く<sup>せ</sup>ま  
せ<sup>ん</sup>。ワ<sup>ワ</sup>ク<sup>ク</sup>ワ<sup>ク</sup>する<sup>年</sup>でもあ<sup>あ</sup>つ<sup>た</sup>し、大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>な<sup>一</sup>年<sup>ねん</sup>で  
し<sup>た</sup>。息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>が小<sup>しょう</sup>学<sup>がく</sup>校<sup>がう</sup>に<sup>にゅう</sup>学<sup>がく</sup>し、娘<sup>むすめ</sup>の保<sup>ほ</sup>育<sup>いく</sup>園<sup>えん</sup>が<sup>はじ</sup>ま  
つ<sup>た</sup>か<sup>ら</sup>です。

素<sup>すて</sup>敵<sup>てき</sup>な<sup>一</sup>年<sup>ねん</sup>でもあ<sup>あ</sup>つ<sup>た</sup>し、多<sup>た</sup>忙<sup>ぼう</sup>な<sup>一</sup>年<sup>ねん</sup>で<sup>し</sup>た。  
大<sup>だい</sup>好<sup>こう</sup>き<sup>な</sup>な<sup>仕</sup>事<sup>ごと</sup>が<sup>で</sup>き<sup>た</sup>こ<sup>と</sup>、で<sup>も</sup>た<sup>く</sup>さ<sup>ん</sup>働<sup>はたら</sup>き<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。  
心<sup>こころ</sup>が<sup>はげ</sup>しく<sup>いた</sup>み、心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>だ<sup>ら</sup>け<sup>の</sup>一<sup>ひと</sup>年<sup>ねん</sup>で<sup>し</sup>た。  
突<sup>とつ</sup>然<sup>ぜん</sup>、両<sup>りやう</sup>親<sup>しん</sup>の<sup>ひとり</sup>人<sup>ひと</sup>が<sup>な</sup>亡<sup>な</sup>くなり、も<sup>う</sup>一<sup>ひとり</sup>人<sup>ひと</sup>も<sup>あぶ</sup>な<sup>か</sup>つ<sup>た</sup>  
か<sup>ら</sup>です。

で<sup>も</sup>、と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>幸<sup>こう</sup>運<sup>うん</sup>な<sup>一</sup>年<sup>ねん</sup>でもあ<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>  
身<sup>み</sup>近<sup>ぢか</sup>な<sup>家</sup>族<sup>かぞく</sup>は<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>で<sup>し</sup>た<sup>し</sup>、一<sup>ひとり</sup>人<sup>ひと</sup>ぼ<sup>ぼ</sup>っ<sup>ち</sup>に<sup>も</sup>な<sup>な</sup>り<sup>ま</sup>  
せ<sup>ん</sup>で<sup>し</sup>た。

2022年<sup>ねん</sup>は<sup>え</sup>が<sup>お</sup>で<sup>たい</sup>たい<sup>い</sup>です。大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>な<sup>こ</sup>と<sup>に</sup>対<sup>たい</sup>し、  
一<sup>いち</sup>日<sup>にち</sup>一<sup>いち</sup>日<sup>にち</sup>、少<sup>すこ</sup>し<sup>ずつ</sup>づ<sup>つ</sup>、向<sup>むか</sup>か<sup>つ</sup>つ<sup>て</sup>い<sup>い</sup>く<sup>つ</sup>も<sup>り</sup>で  
す。毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>お<sup>お</sup>い<sup>い</sup>し<sup>い</sup>も<sup>も</sup>の<sup>を</sup>食<sup>た</sup>べ<sup>る</sup>よ<sup>う</sup>に<sup>し</sup>た<sup>い</sup>い。毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>  
少<sup>すこ</sup>し<sup>ずつ</sup>づ<sup>つ</sup>でも<sup>本</sup>を<sup>よ</sup>み<sup>た</sup>い<sup>い</sup>。仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>を<sup>たの</sup>し<sup>し</sup>み<sup>ま</sup>す。  
家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>と<sup>じぶん</sup>が<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>で<sup>つづ</sup>け<sup>ら</sup>れる<sup>よ</sup>う<sup>に</sup>頑<sup>がん</sup>張<sup>ばう</sup>り<sup>ま</sup>す。

家族と会話をします。毎日笑える理由を見つめます。少しずつ。

## ★インドの方

### 日本での生活

去年、私は日本に来ました。そして、研究者としてのキャリアをスタートしました。日本の自然をたくさん楽しみました。

2022年は去年と同じか、それ以上に自分を成長させ、楽しく過ごせるようにしたい。

## ★スコットランドの方

今年は日本語を上手になりたい。

もっと日本語を聞いたり、話したりするのが上手になりたい。日本語が上手になって、もっと日本人と話すことができるようになりたい。そして、会社のミーティングで何を言われているのか理解したい。

## ★中国の方

### 去年のこと

日本語をろくに勉強しないでいつも忘れていました。

東京に出てきてから新型コロナで会社の経営がうまくいかなかった。1年あまり中国に帰っていないので、とても家族が恋しい。

嬉しいことは、無事に日本の運転免許が取得できたこと。



## ★インドの方

### 今年の抱負

みなさまの ごたこうを おいのり もうしあげます。

今年は私の国インドの家族をたずねたいと思います。帰国後は、日本のでんとうてきな場所をおとずれたり、高尾山を何度もトレッキングしたりしたいと思います。

# 【スタッフ】

## ★祐子さん (スタッフ)

日本語ボランティアに参加させていただいてから一年と4カ月。なかなか行事が味わえないで過ぎた日々でした。しかし、先日Zoomを駆使し、対面授業とon-line授業の皆さん合同の集いが行われました。久しぶりに活気のある受講生とスタッフの皆さんと触れ合えたし、コロナ禍で大変な中頑張っている姿も目の当たりにしました。主催してくださった方々も、慣れないオンラインでの行事だったとは思いますが、上手に皆さんが参加できるようにアレンジしてくださり感動しました。この皆さんのパワーがあるから、日本語教室は続けられるのだろうと2022年に明かりを見ています。

## ★美智子さん

### 高校生になったマダブさん

マダブさんは去年の4月に都立高校の入試に合格し、高校生になりました。入学試験のために一生懸命勉強したそうです。受験については、勉強も進路指導も”多文化フリースクール”で受け、希望通りの成果を見事に手にしました。これからの楽しみです。いずれしろ、コロナ禍終息の後には、海外から日本に来る人たちも多くなるでしょう。こうした多文化フリースクールの存在やK I Aのような存在はますます重要な役割を担うことになるでしょう。

## ★三江子さん

### 年末年始の過ごし方

江戸の頃より正月料理に欠かせないのが、数の子(子孫が繁栄し)、黒豆(健康でまめに働き)、ごまめ(豊かな実りを得る)という三つ肴(祝い肴)。人間の一生の平安を祈る意味が込められています。有名料理人監修のおせちセットを購入するか迷いましたが、やはり手作りの家庭の味にしました。

黒豆は丹波の黒大豆300gを三日間かけて丁寧に煮含め  
めま。鰯の照り焼き、えびのつや煮、紅白なます、松風焼き、ミートローフ、筑前煮etc.を



手作りし、紅白のかまぼこ、伊達巻き、錦玉子、栗きんとんと共に重箱に詰め合わせます。年越しそばを食べたら、Countdown コンサートを楽しみます。元旦には近くの神社に初詣、一年の健勝を祈願します。帰宅後、お屠蘇で乾杯し、お雑煮を食べながらおせち料理を戴きます。今年の箱根駅伝は総合2位入賞を果たした、J大学に感動しました。かつては初代「山の神」を輩出し、その時から駅伝の大ファンとなりました。総合優勝のA学院大学の快挙は言うまでもなく素晴らしいです。初春に箱根路を駆け抜ける若者達の勇姿に今年も「今年の勇気と活力」を頂きました。

## ★英爾さん

オンライン集い・22年の目標と計画・21年を振り返って

新感染症以前は、季節ごとに日本の伝統的な行事、例えばひな祭り、たなばた、お月見やお楽しみ会など学習者さんとスタッフと一緒に準備し楽しんでいました。今回はそれらができないので、代表と役員の皆様のアイデアと準備で初めて「オンラインの集い」が開催されました。

「集い」ではスタッフと学習者さんの皆さん、特に普段会うことができないオンラインの学習者さんに会うことができました。

また学習者さんの多さに驚きました。同時に心強く感じました。特にジャンケン大会は学習者さんが賞品もありとても楽しんでいました。また学習者さんの個性ある自己紹介はとてすばらしく楽しかったです。特に初級の学習者さんはしっかりと自信を持って話していて良い経験になったので

は……。学習者さんにとって楽しい集いになりましたね。有り難うございました。

## <2022年の目標と計画>

- ① 現在担当している アミートさんには『語彙を増やす。初級の文法を理解できる』を目標に進める。
- ② 全てのレベルの学習者さんにはニーズにそって教材を選び勉強ができるようにする。
- ③ オンライン学習ができるようにする
- ④ 教科書「まるごと」の音声を活用する



## <2021年を振り返って>

2年ぶり10月に復帰しましたが思うように進めることができず、学習者さんにはだいぶ迷惑をかけてしまいました。

## 【新しいスタッフ】

Welcome !



☆康代さんです (東京都)

今年の10月よりお世話になっております康代です。東京都出身で、現役の通信の大学生！ハチマキして、日本語教師の取得にまい進中です。今年3月に卒業予定の予定です、

同居家族は、お殿様の旦那様がひとりおります。娘は今年やっと社会人になり独立していきました。趣味は、箱テッシュ片手に、ハングルを勉強とは名ばかりの韓国ラブコメの沼にはまっています。もう一つは、お嬢様テニス！もぐもぐタイムもあり、おしゃべりと笑いながらのふわふわテニスです。

今年も泣き笑いしながら、イケメンと日本語教師に不時着することが目標です(^^)/

先輩の皆様方、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

☆英爾さんです (東京都)

2021年10月日本語教室(夜)に参加しました英爾と申します。よろしくお願いたします。

実は日本語教室には2012年に参加し2019年3月に一度退会し昨年10月に復帰した次第です。東京で育ちました。

仕事の関係で海外での生活がながく、その間現地の方々に仕事面や生活面でたくさん助けてもらいました。日本に戻ってから何か恩返し出来ないかと思いをめぐらし、日本に住んでいて日本語の勉強が必要な方と日本語と一緒に勉強するのはどうかと考えました。

一緒に勉強するためには基礎知識が必要と思い、日本語教育420時間をコースを受講しその後に教室に参加しました。同時にある日本語学校で非常勤講師として週数回授業を担当しました。しかしコロナ禍の影響でクラスが縮小となり担当を退きました。ほぼ同時期に家庭の事情もあり日本語教室も一時休会することになりました。ただ私自身と初心の恩返しを思い、10月に再度参加することにした次第です。復帰して懐かしい仲間の方々に再会でとても嬉しく感じました。これからも皆さんと一緒に勉強したいと思っていますのでよろしく願いたします。

☆愛さんです (東京都)

10月から日本語教室のボランティアを始めました愛と申します。東京都出身です。言葉の仕組みに興味があります。大学で留学生と出会って、日本語の面白さをもっと知りたいと思い日本語教育を勉強しました。母語の能力を活かして言葉の感性を磨いていきたいと思っています。KIAで勉強する機会が与えられ、学習者やスタッフと交流する活動を通して、様々な経験のある方々から刺激を受けています。この教室で日本語を教えることで、学習者さんのニーズに合わせて一緒に勉強することができれば良いなと思います。経験は浅いですが少しでもお役に立てれば嬉しいです。よろしくお願いたします。

☆正宏さんです

皆さん、こんにちは。一昨年、日本語教師養成講座を修了し、現在日本語教師ボランティアとしてKIAに参加している正宏です。良かったら、【マサさん】と呼んでください。～Please just call me MASA!～

基本的に私は、“没インターナショナルのドメスティックオヤジ?”ですが、その分、とても「日本(人)的」だと自負しており、生徒さんには良い人材かと思っています。(笑)

言葉は、あくまでコミュニケーションツール(道具)ですので、間違っている、意味が上手く伝わらなくても...まずは楽しくたくさん会話することが大切だと思っています。

因みに、私は日本拳法・スクーバダイビングのインストラクターで、冗談好きな整体師でもあります。気軽に話しかけて頂けたら幸いです。どうぞ宜しくお願いします。

☆スタッフ募集



私たちと一緒に外国人の方に日本語を教えてください。ボランティアを募集しています。ご興味のある方は以下にご連絡ください。

国分寺市国際協会事務局

〒185-0034

国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ1

TEL:042-505-6132 FAX:042-505-61

E-Mail:kia@mrj.biglobe.ne.jp



受付 am9:00～pm. 5:00 (月曜～金曜)

日本語でお困りの外国人の方

国分寺市国際協会日本語教室では、外国人の方が日本語を学べるように日本語教室を開催しています。

開催日：水曜日(19時～21時) 金曜日(10時～12時)

※会場等お問い合わせは、上記事務局まで